



株式会社兼重建具

所在地	〒753-0054 山口市富田原町1-38 TEL : 083-923-1876
代表	兼重 正
H P	https://kaneshigetategu.com/



今月号では、株式会社兼重建具の兼重正代表取締役にお話を伺いました。

株式会社 兼重建具

●会社沿革

昭和24年	山口市中園町で創業
昭和43年	富田原町に移転
平成16年	工場の老朽化に伴い建て替え
平成21年	二代目から現代表に交代
令和3年	家具のオンラインショップ「HAOLY」立ち上げ

●二代目と二人三脚で建具・家具製作

兼重建具は祖父が昭和24年に創業しました。平成21年に父から会社を継ぎ、代表取締役に就任しました。現在は主に二代目と二人で作業をしており、住宅向けの木製建具や家具をつくっています。

建具や家具をつくるほか、家に関する悩み事の相談を受けることもあります。例えば雨漏りなど、相談できる業者が身近にいない、どこに相談したらいいかわからないという方の相談を受けて当社が窓口になり、信頼できる業者さんを紹介したり、当社で施工できることは当社で受けたりします。紹介するだけでなく紹介した事業所に同行することもあります。困りごとがある方と、それを解決できる事業者のつなぎ役になるイメージです。

事業をする上で大事にしていることは、「ちゃんと見積もりをさせてもらう」ということです。例えば飲食店に行って、メニューに900円と値付けされていたら900円を支払うと思いますが、私たちの場合、施工費9万円と提示すると「安くならないか」と言われることがあります。

ここでただ値段を下げるのは違うと思っていて、見積もりと予算が合わなければ、金額に合うように内容を修正する必要があります。お互いが対等に、納得できるように擦り合わせて、ちょうどいい落としどころを見つけられるように努めています。



●積極的な設備投資でニーズに応える



木工加工機 NC ルーター

新しい機械を導入したり、買い替えをしたりと、時代の変化やお客様の要望に応えられるようにしています。取り付けるドアの高さが昔とは変わっていて、従来の機械では加工が難しくなるなどの状況があるためです。

なかでも、コンピューター制御の木工加工機「NCルーター」の導入は大きな変化でした。代表を引き継いだばかりのタイミングでの導入に加え、木造の工場を建て替えたときの負担もあるなかだったので、リスクでもありました。

ただ、ちょうど良いタイミングで色々な方から手を差し伸べて頂いて、物事が進んでいったおかげで実現できたと思います。NCルーターを入れてからは作業効率が変わり、仕事の量が増えました。

例えばドアに取り付けるレバーハンドルはメーカーや、鍵が付くかどうかなどで形状が異なる上に、取り付けるためのドアの加工もかなり複雑なのです。様々な道具を出して手作業で進めると30分はかかるものが、この機械を導入してからは3～4分で完了するようになりました。加工するための設計図・プログラム作成と入力には時間がかかりますが、同じものの加工がある時はかなりの時間短縮になりますし、全て均一に綺麗にできます。人の手で加工すれば、それだけ時間がかかりますし、どれだけ経験を積んでも満足いかない出来のものはできてしまうことがあります。



NCルーターのプログラム入力用コンピューター

注文を受けたら工場加工して現場に持って行くのですが、従来は現場で1時間かかっていた作業が15分程度で終わるようになり、お客様からは「えらい早いですね」と言われるようになりました。

そのほか、レーザー加工機も取り入れ、専用の作業室も作りました。画像データを取り込んで、木材に焼き付けるような加工ができるのですが、細かい文字も正確に刻めるところが気に入っています。息子がグラフィックデザインツールの「Illustrator（イラストレーター）」を使えるので、彼が作成したデザインを元に作ることもあります。



レーザー加工機



レーザー加工機で製作したオリジナルグッズ

実際に湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」へロッカーの鍵につける木製キーホルダーや、湯田温泉の寿司店「貴心」に木製コースターを納品しました。

機械の導入で作業効率が変わったので、早くから設備投資をしてよかったと思います。また、昨年9月から土日祝日を休みにしました。代わりに月曜から金曜まで仕事がギュッと詰まって平日は忙しくなりましたが、身体的にはより楽になりました。

●オリジナル家具ブランドの立ち上げ

2021年に家具の新ブランドおよびオンラインショップ「HAOLY（ハオリー）」を立ち上げました。創業70年をきっかけに考えたものです。「何か新しいことをしないと、考えないと」と思っていました。

建具工事では、それぞれの住宅や店舗に合わせてオーダーメイドになることがほとんどなので、寸法が決まった規格のあるものを作って売りたいと考えて、ハオリーを設立しました。

ブランドコンセプトは「暮らしの中にひとつの幸せ（One happiness in one's life）」。

息子の案で、ブランド名兼オンラインショップ名は、この英文から文字を取って組み合わせたものです。現在はテーブルやデスク、棚、デスクトップパソコンの机上台などをオンラインで販売しています。



HAOLY のウッドデスク

●情報発信で「建具」の認知向上へ

5年ほど前に当社のホームページを整備したのですが、新たな仕事を得るために作ったのではなく、「建具屋」というものを知ってほしくて作りました。

まず、「タテグ」でなく、「ケング」と読む人が多くて、今の世の中ではあまり馴染まれていないように感じます。昔ながらの木造住宅は柱があって、ふすまで仕切られていて、障子があって……と、建具が身近な存在だったんですね。最近の住宅では建具が限られてきていて、建具屋は何を作って何を売っている会社なのかが知られていません。「毎日出入りするドアがあるでしょう？ ああいうものを建具と言って……」と、そこから説明するようになっていきます。

ホームページのほか、フェイスブックやインスタグラムでも施工事例などを発信しています。これらを通して、建具屋について少しでも知ってもらえたら嬉しく思います。

●レーザー加工機の活用で新たな柱を

レーザー加工機を使用したノベルティ・オリジナルグッズ製作をもっと進めていきたい思いがあります。現在は建具工事業との両立が難しい状況にあるため、まだ積極的な営業活動ができていないのですが、先方から依頼をいただいて納品しているところもあります。

キーホルダーやコースターのほか、例えばお手洗いの目印なども製作できます。作りたいイメージにかなり忠実に作ることができるので、今後はオンラインショップにグッズのデザイン・製作を追加して、受注できるようにしたいと考えています。

高齢化などにより、やむなく事業を畳む決断をされる方もいる中、こうして仕事を続けていて重宝されている部分はあるように感じます。出来る限りその期待に応えていきたいです。



レーザー加工機ではアクリル板の加工も可能